

(様式1)

個別施策評価調書

主管部	教育局	
関係部		

基本施策	1-2 教育日本一を目指し教育内容を充実する
個別施策	③ 教育環境の整備
個別施策の方向	子どもたちが日々、安全で快適な教育環境のもと学習に取り組めるよう、学校の適正規模・適正配置を踏まえながら校舎の改築や設備の充実に取り組む。

決算及び事業費内訳 (単位：千円)											
H27年度	決算	事業費	1,541,455	人件費	26,417	事業コスト	1,567,872				
	事業費内訳	国庫支出金	500,583	県支出金	0	地方債	625,400	その他特財	148,410	一般財源	267,062
H28年度	決算	事業費	6,657,032	人件費	27,240	事業コスト	6,684,272				
	事業費内訳	国庫支出金	2,097,756	県支出金	0	地方債	3,115,300	その他特財	1,080,000	一般財源	363,976
H29年度	決算	事業費	8,081,386	人件費	26,090	事業コスト	8,107,476				
	事業費内訳	国庫支出金	2,244,501	県支出金	348,919	地方債	3,740,300	その他特財	0	一般財源	1,747,666
H30年度	決算	事業費	1,978,182	人件費	9,699	事業コスト	1,987,881				
	事業費内訳	国庫支出金	151,825	県支出金	0	地方債	838,500	その他特財	0	一般財源	987,857

市民満足度 (市民意識調査)	H27年度	H29年度	前回比
つくば市の現状やまちづくりへの取組について	26.0%	25.2%	-0.8%
15) 児童生徒の支援体制整備			

平成30年度つくば市行政経営懇談会 評価結果		
総合評価	C	施策の成果が期待できないため、大幅な見直しを要する。
提言	<p>教育環境を整備するにあたり、人口動態等を把握しながら柔軟に進められたい。</p> <p>また、学校の大規模化や通学路等の学区をめぐるトラブル等も発生していることから、学校等適正配置計画の策定方法を見直し、既存の学校施設の整備、修繕も適切に進められたい。</p>	

施策の 取組概要	<p>教育環境の向上を図るため、学校施設の整備を進める。</p> <p>安心して学校生活を送れるよう、施設の改修、危険箇所の解消、普通教室へのエアコンの設置を進める。</p> <p>園児・児童・生徒に対し、より安全で栄養バランスがとれたおいしい給食を安定して提供するため、給食センター事業を充実させる。</p>
施策の 成果	<p>(仮称)香取台地区小学校を建設するための用地を取得し、同校建設が進められた。また、(仮称)新谷田部学校給食センターの建設工事に着手し、給食を安定して提供するための施設整備が進められた。</p>
課題と 改善目標	<p>学園の森義務教育学校及びみどりの学園義務教育学校の児童生徒の増加に対処するため、新たな学校の整備を推進する。</p>

自己評価（所管部署評価）		
自己評価	B+	施策について成果が確認でき、さらなる向上が期待できると判断される。